

地域密着型金融の推進への取組み状況

2018年7月



みなと銀行

I. 地域密着型金融の推進に関する基本的な方針	… P2
II. 2017年度の取組み状況について	… P3
1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮	
2. 地域の面的再生への積極的な参画	
3. 地域やお客さまへの積極的な情報発信	
III. 2018年度の取組みについて	… P18

I. 地域密着型金融の推進に関する基本的な方針

当行は、「地域密着型金融の推進に関する基本的な方針」を定めるとともに、中期経営計画『みたと“3 First Plan”(スリーファーストプラン)』の主要施策の着実な実践を通じて、地域密着型金融を推進しております。

中期経営方針

みたと“3 First Plan”(スリーファーストプラン) (2017～2019年度)



1. 地域活性化への持続的貢献

- ◆ 地元経済を牽引する企業の成長支援
～事業性評価を通じた企業価値向上への取組み～
- ◆ 地方創生・地域活性化への取組み強化

2. お客さま本位のコンサルティング機能の発揮

- ◆ ライフステージに応じた情報提供・提案力の向上
- ◆ お客さまとの接点強化
- ◆ ITの戦略的活用

3. 筋肉質な経営基盤の確立

- ◆ 収益力・取引基盤の強化・多様化 ～1人ひとりの生産性向上～
- ◆ グループ総合力の強化 ～チームみたと～
- ◆ 人材育成・活力ある企業風土の醸成
- ◆ ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底
- ◆ リスク管理・ALM管理・自己資本管理の実効性向上

地域密着型金融の推進に関する基本的な方針

地域密着型金融は、当行の経営理念を実践するための具体的な方策のひとつであり、経営理念「地域のみなさまとともに歩みます～金融・情報サービスの提供を通じて、地域に貢献します～」及び「CSR」の定義(※)に基づき、推進を行ってまいります。

※ 当行の「CSR」の定義… 事業を遂行する中で、①お客様、②株主・市場、③社会・環境、④従業員に、より高い価値を提供する事を通じて、地域社会の持続的な発展に貢献する。

2018年度 取組方針

1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮
2. 地域の面的再生への積極的な参画
3. 地域やお客さまへの積極的な情報発信

II. 2017年度の取組み状況について

2017年度よりスタートさせた中期経営計画『みなと“3 First Plan”(スリーファーストプラン)』の主要施策として、「地域活性化への持続的な貢献」「お客さま本位のコンサルティング機能の発揮」「筋肉質な経営基盤の確立」を掲げ、地域密着型金融の推進に積極的に取り組みました。

セミナー・イベント等の模様

◆「みなと就職応援イベント in HYOGO」(2017/5)



2017年5月、合同就職説明会「みなと就職応援イベント in HYOGO」を開催し、企業35社が出展、学生169名に参加頂きました。

◆「みなと元気メッセ2017」(2017/9)



2017年9月、ビジネスマッチングのチャンス創出を目的として「みなと元気メッセ2017」を開催し、50社・団体のお取引先に出展いただきました。

◆ 小野市との包括連携協定 (2017/6)



2017年6月、兵庫県下の市町では初めて小野市と包括連携協定を締結し、同時に、みなと地域貢献寄付型ファンド『小野市とともに』の取扱いを開始しました。

◆「HYOGO KOBE BRAND NEW 100 ブランド紹介 & 展示会」(2018/3)



2018年3月、当行が東京支店隣接スペースに開設した「みなとビジネスプラザ東京」にて、地域ブランド「HYOGO KOBE BRAND NEW 100」のブランド紹介 & 展示会を実施しました。

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮

◇ 地元経済を牽引する企業の成長支援

(1) 事業性評価を通じた企業価値向上への取組み

主要施策

① 事業性評価室の役割定着

- ・事業性評価定着に向けた体制整備（事業性評価シートのバージョンアップ、モニタリング方法、営業店サポート体制等）

② 事業性評価シート活用等による実効性向上

- ・低格付先等に対する早期段階からの事業再生・経営改善・出口支援促進による営業店支援等
- ・営業部門との連携強化（事業性評価に基づく融資案件発掘等）
- ・ベンチマークに基づく金融仲介機能発揮状況の検証・評価・改善
- ・事業性評価に基づく与信判断のプロセス等検討

③ 事業性評価貸出金の増強

- ・事業性評価に基づく新たな需資対応（商品の拡充）
- ・事業性評価の取組強化

具体的な取組状況等

- 事業性評価シート作成、活用における課題・改善点の洗い出し。

- 低格付先等に対する経営改善・事業性評価に向け、実態把握を実施。
- 事業性評価室、企業再生室、法人業務部の打合せ定例化（毎週月曜）

商品名	取扱開始	実績
長期安定貸出「のぼり」	2017/4	6件 / 5.7億円
お話し（事業承継版）	2017/7	11件 / 18億円
ひょうご応援CLOローン「スクラム2017」	2017/8	117件 / 43億円
長期安定貸出「のぼり」(事業承継版)	2017/10	1件 / 3億円
みらい地域応援ローン「スクラム2018」	2018/1	66件 / 21億円
みらい地域応援ローン「スーパー・スクラム」	2018/1	40件 / 9億円

- REVIC「特別専門家派遣業務」の活用（実績：4社）
- 外部専門家の活用（TRUVA：（実績：3社）、中産連：（実績：3社））

II. 2017年度の取組み状況について

(2) お取引先のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

主要施策

① ビジネスマッチング業務の取組強化

- ・「みなと元気メッセ」の内容拡充
- ・「食の魅力発見商談会」の出展企業の増加
- ・ものづくりマッチングアドバイザーの増強
- ・独自開催や神戸商工会議所等との連携による、各種相談会の開催
- ・好事例等の情報発信によるビジネスマッチング業務の重要性啓蒙
- ・不動産有効活用等、有料ビジネスマッチング手数料収入の増強

② 海外ビジネスコンサルティング力の強化

- ・外部セミナー等への積極的参加を通じ、海外情報収集・蓄積による海外ビジネスサポート力の強化
- ・海外ビジネス情報（進出・販路拡大・金融等）蓄積、継続フォロー
- ・渉外行員の顧客海外ニーズ対応力向上を図るべく、行員向け勉強会・セミナー、同行訪問の実施
- ・海外トレーニー拡充による人材育成、現地情報収集強化

具体的な取組状況等

- 「みなと元気メッセ2017」：50社 / 56ブース（過去最多の出展者数）
- 学生向け「ものづくり企業紹介セミナー」を新規実施（学生73名参加）
- みなとコンサルティング株 / ものづくりアドバイザーによる当日引合せ（マッチング実績：115件（過去最多））
- 「食の魅力発見商談会」出展者数7社（前年比 +1社・過去最多）
- ものづくりアドバイザー2名採用し、4名体制へ増員
- 近畿大阪銀行「ネットワーク商談会」セラー2社参加（2017/11）
- 「みなとビジネス商談会」開催（2018/1）17社、（2018/3）15社
- りそな銀行「ビジネス商談会」セラー1社参加（2018/3）

- 兵庫県など外部期間主催セミナー27件参加
- 海外ビジネス関連相談案件 211件（うち国内139件、上海事務所72件（2018/2末実績））
- 行員向け「土曜セミナー」実施（2017/7、2018/3）
テーマ：香港の概要・経済動向について（2017/7）
外国人材、ベトナム現地情報について（2018/3）
- 若手（2～3年目）行員向け「外為・為替相場基礎研修」実施
- アジア室帯同による顧客訪問 61件
- 業務提携機関帯同による顧客訪問 21件（成約0件、成約見込1件）
- トレーニー派遣（SMBCホーチミン支店、SMBC上海本店）

II. 2017年度の取組み状況について

(2) お取引先のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

主要施策

③ 海外ビジネス支援策拡充

- ・新たな海外イベント、商談会の開催
- ・各種機関との連携強化
 - (i) 提携機関の拡充及び連携強化による支援体制の充実
 - (ii) 公的機関の活用によるビジネス支援
- ・外銀提携先拡大による現俸向け資金調達支援の拡充
- ・商談会やセミナー等、兵庫県との共催による連携強化
- ・アジアサークルにおける、専門家招聘による進出支援相談会等、情報提供機会の拡充

④ 再生、転廃業支援への継続的な取組み

- ・事業再生ファンド・サービサーを利用した事業再生支援
- ・REVIC、再生協等を利用した転廃業支援

⑤ 与信判断力の向上、スキルアップ

- ・審査、融資管理、アパートローン審査 各トレーニー受入継続
- ・若手行員のスキルアップに向けたe-ラーニング、筆記試験の継続

具体的な取組状況等

- 「Mfair2017バンコクものづくり商談会」8社出展 (2017/6)
出展先、現地進出企業を含む懇親会開催 (11社 / 21名 参加)
- 「香港 フード・エキスポ2017」12社出展 (2017/9)
- 「FBC上海2017ものづくり商談会」8社出展 (2017/9)
- 「上海駐在員事務所開設10周年記念セミナー・懇親会」
26社・団体 / 52名参加
- 「みなと海外ビジネス個別相談会」20社参加 (2018/2)
- 提携機関の活用により、中国からの撤退 (M&A) 案件対応中。
- 神戸市サービス「ベトナムビジネス法律相談」案件1件
- JETROより資料を入手・案内「タイの過去5年間の経済動向推移資料」
(1件)、「インド ニムラナ工業団地資料」(1件)
- NEXI帯同による顧客訪問 (1件)
- スタンドバイクレジット保証による資金調達提案 (1件)
- バンコク (2017/6)、香港 (2017/8)、上海 (2017/9) 商談会へ兵庫県
と連名参加
- 兵庫県等との共催セミナー実施10件
- 「神戸グローバル経営塾@みなとアジア・カフェ」の神戸市共催 (2018/2)
- 「第7回アジア・カフェ」にて香港貿易発展局、(株)プレバランス (梅田) 招聘

- 事業再生ファンド・サービサー利用 8件 (上期：3件、下期：5件)
- REVIC、再生協等利用 5件 (上期：0件、下期：5件)

- 融資管理トレーニー：20名受入
- 審査トレーニー：20名受入
- ローン審査トレーニー：11名受入
- e-ラーニング実施 (2017/7、2018/3)
- 筆記試験実施 (2017/12、2018/3)

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

(3) 事業承継コンサルティングを活用した地域企業とのリレーション強化

主要施策

① 事業承継コンサルティング業務の強化

- ・事業承継担当者のスキルアップと増員による対応件数の増強
- ・外部コンサルタント等、外部提携機関との連携による対応力の強化
- ・土曜セミナーを含む中堅層向け研修等の実施による、営業店の対応力、情報発信力の向上
- ・顧客向け、他組織向け外部セミナー開催による情報入手源の多角化

② M&Aコンサルティング業務の取組強化

- ・土曜セミナー定例開催による法人担当者のスキルアップ
- ・神戸商工会議所など提携先の推進、提携の拡大
- ・M&A担当者のスキルアップと増員

具体的な取組状況等

□ 相談件数、対応件数の実績

年度	相談件数	対応件数	対応件数目標
2016年度	193件	160件	150件
2017年度	249件	222件	150件

□ 事業承継トレーニー 30名受入

□ 中堅行員向け事業承継・M&A研修実施 (60名受講)

□ 本部分行員向け「のぼり」勉強会実施 (30名受講)

□ 事業承継・M&Aセミナー実施

加西商工会議所 (31名参加)、神戸商工会議所 (60名参加)、
 姫路商工会議所 (64名参加)、山下会計事務所 (20名参加)、
 廣岡会計事務所 (20名参加)、東アジア経営塾 (80名参加)

□ 土曜セミナー「事業承継・M&A」実施 (64名受講)

□ 包括秘密保持契約締結13件

□ 専担者4名体制 (前期比1名増員)

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

◇高齢者・障害者等向け取引への取組み

(1) 相続相談業務の拡充

主要施策

① 相続関連業務の増強

- ・法人オーナー、アパートローン先、地主先、資産家への事業承継ニーズへの対応力強化
- ・相続対策チームが開催する「個別相談会」の開催を通じた遺言信託ニーズ発掘による遺言信託成約件数の増強
- ・SMTB講師の相続セミナー及び「個別相談会」開催による対象マーケットの拡大

② 相続トレーナー制度の充実

- ・相続レシピ等の充実による柔軟なカリキュラム対応と女性トレーナーの育成強化

③ 相続関連業務の営業力強化

- ・相続サポートダイヤルの拡充と相続推進チームとの連携による資産継承サポートの向上

具体的な取組状況等

- 遺言信託実績 123件 (2018/3末)
- 個別相談会開催件数 264件 (2018/3末)
- 相続セミナー開催件数 14件 (2018/3末)

- 年間計画：120名 実績：121名 (上期：69名、下期：52名)

- 遺産分割協議書 / 遺言信託 見込先 情報発信件数
年間計画：120名、実績 260件 (上期：150件、下期：110件)

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

(2) お客さまサポート機能の充実

主要施策

- ① 高齢者、障がい者取引におけるCS向上
- ・サービスケアマネージャーの活動促進（研修）
 - ・認知症サポーター（資格者）の増員
 - ・行内研修の継続実施による対応力強化
 - ・高齢者、障がい者の来店対応（接遇・環境等）強化
 - ・高齢者、障がい者の利便性向上のための店頭備品の整備

具体的な取組状況等

- サービスケア研修 64名受講（2017/6：34名、2018/2：30名）
- サービスケアマネージャー研修 95名受講（2017/6）
- サポーター養成制度新設（2017年度～）
認知症サポーター養成講座 85名受講（2018/1）
- 各種研修実施（LA・スタッフ等）及び改善フォロー
スタッフ基礎力研修 173名、若手行員CS基礎研修 278名、
LA研修 80名受講、ビデオ臨店研修 11部店実施
- 車椅子10台購入（上期・下期 各5台 購入）、年度末で22台設置
- コミューン：年度末10台設置済

◇ ITの戦略的活用の取組み

(1) 顧客向けスマートフォンサービス・行内タブレット等の機能充実

主要施策

- ① 非対面チャネルの強化
- ・法人インターネットバンキングのAPI連携
 - ・SNS取扱拡張
 - ・個人インターネットバンキングの機能改善・画面レイアウトの見直し

具体的な取組状況等

- マネーフォワード社と連携開始（2017/4）
- 関西みらいFGにおけるSNS活用方針について統合3行で協議中
- 口座開設アプリ申込時のデータをIB初期登録時に連携（2017/4）
- システム統合時、個人IBはりそなシステムに統合予定。

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

(1) 顧客向けスマートフォンサービス・行内タブレット等の機能充実

主要施策

具体的な取組状況等

② 既存インフラ、データの活用

- ・タブレット端末の拡張（預り資産担当者への端末配布及び保険電子化機能追加）

- 増台実施（2018/3）、保険電子化対応（2018/10）

③ 法人EBサービスの拡充

- ・非対面チャネル、でんさいネット機能改善（「即時口座振替サービス」導入、でんさい5次機能追加）
- ・決済業務の高度化（「API連携」「XML電文」等）
- ・取扱時間の24時間化対応と自行振込の時間延長
- ・ビジネスWebのセキュリティ強化・対策（含む外為Web）

- でんさい5次機能開発リリース済（2018/1）
操作性・利便性向上を実現
- API連携サービス開始（マネーフォワード社）（2017/4）
API連携サービス利用先 87先
- 法人EB 自行振込時間延長済（2018/1）
- ワンタイムパスワード適用必須化済（2017/12）

④ 個人IB利用の促進

- ・決済ツールの利用促進
- ・スマホ・アプリ利用先へのサポートツール作成
- ・アプリ口座開設先への情報提供
- ・個人ローンの申込・借入返済・クレジットカード申込等、機能の拡充

- ログインフォローTMサイクル見直しにより初回ログイン率改善
初回ログイン率：20% → 35%（2018/3）
- ログインサポートツール改訂（2017/12）

⑤ Qポートのプロモーションの強化

- ・SMS配信によるQポートカードローン推進
- ・ネット広告、プロモーションの手法見直し（媒体・ツール）

- カードローン資料請求先へSMSフォロー実施済（2017/4）

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

2. 地域の面的再生への積極的な参画

◇ 地方創生への取組み

(1) 行政、公的・民間機関との連携強化や地域プロジェクトへの積極的な参画

主要施策

① 地域開発プロジェクトの推進

- ・行内連携体制の整備・強化
- ・不動産・建設等の関係事業者や外部機関（UR・住宅金融支援機構等）との連携強化・案件発掘
- ・三宮再整備事業等、PJ案件への関与
- ・PPP / PFI案件の発掘（公有資産の建替等）

② 地方版総合戦略の推進支援

- ・地方創生、産業振興に係る連携協定の締結
- ・起業・創業、事業承継・M&Aセミナーの開催
- ・空き家対策ローン（仮称）の創設
- ・地方創生推進体制整備と情報発信強化

③ 兵庫県協定に基づく政策支援

- ・首都圏大学生の地元企業への就職支援事業協力
- ・学園都市支店内「知るカフェ」事業での協働推進
- ・標準化活用支援パートナーシップ制度への参画

具体的な取組状況等

- 地方創生推進担当者を任命拡大し、県内各市町の地域開発プロジェクトについて情報収集
- 情報収集済プロジェクト 116件（うち、ファイナンス実績案件 2件 / 54億）
- 三宮再整備に係る勉強会実施（2018/3）
- PPP / PFI案件 15件

- 姫路市：ひめじ創生戦略他推進連携協定締結（2017/6）
- 小野市：包括連携協定締結（2017/6）
- 加西商工会議所：事業承継・M&A セミナー開催
- （公社）兵庫工業会で第二創業セミナー開催（2017/6）
- 北播磨エリアにおける地方創生推進体制強化
→ 加東市・三木市において協定締結を協議中

- 「ひようご就職応援イベント in OSAKA」
14社出展/234人参加（2017/6）、12社出展/158人参加（2017/10）
- 「県立大工学部内企業説明会・バスツアー実施」（2017/12、2018/2）

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

(1) 行政、公的・民間機関との連携強化や地域プロジェクトへの積極的な参画

主要施策

③ 兵庫県協定に基づく政策支援

- ・首都圏大学生の地元企業への就職支援事業協力
- ・学園都市支店内「知るカフェ」事業での協働推進
- ・標準化活用支援パートナーシップ制度への参画

④ 神戸創生戦略の推進支援

- ・産業振興に関する連携協定締結
- ・学園都市支店内「知るカフェ」事業での協働推進
- ・新事業（ファンド、キャラバン隊創設）への協力

具体的な取組状況等

- 「ひょうご就職応援イベント in OSAKA」
14社出展/234人参加（2017/6）、12社出展/158人参加（2017/10）
- 「兵庫県立大工学部内企業説明会・企業見学バスツアー実施」
（2017/12、2018/2）
- 「ひょうご金融機関 企業説明会・交流会 in 東京」共催（2018/3）
- 外国人留学生向け就職セミナー開催（2017/6）
流通科学大学内説明会 14社出展、49名参加
- 「知るカフェ」協賛企業 12社
- みなとビジネスプラザ東京での地域産品展示・PR（2018/3）

- 産業振興に係る連携協定締結予定（2018/4）
- 神戸市幹部との勉強会を実施
市長との個別勉強会（2017/6）、市長による行員向け勉強会（2017/8）、
住宅都市局による行員向け勉強会（2018/3）
- 「知るカフェ」人事委員会にてスポンサー契約（2017/7）
- 人材確保方策に係る有識者会議に委員参加（金融機関は当行のみ）

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

(1) 行政、公的・民間機関との連携強化や地域プロジェクトへの積極的な参画

主要施策	具体的な取組状況等
<p>⑤ 商店街活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の商店街組織による協働事業への関与・支援 	<ul style="list-style-type: none"> □ 商店街インフラ整備に係るファイナンス関与 2件 / 1,850万円
<p>⑥ 県内地公体取引推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペイジー口座振替受付サービス、口座振替・各種振込データ伝送化推進による公金事務効率化 	<ul style="list-style-type: none"> □ S市：ペイジー口座振替受付サービス導入 (2017/7) □ H町：口座振替データ伝送化 (2017/4) □ A市：一部税目の総振データ伝送化 (2017/12) □ K市、K町：一時貸ベースで相対取引 □ H町：入札形態の見直し提案・採択
<p>⑦ 県内信金・信組取引推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化に向けた協働推進 (起業・創業、事業承継等) ・運用ビジネス、関係会社活用ビジネスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> □ 兵庫信用金庫・神戸信用金庫：「ひょうごの金融機関による企業説明会・交流会 in 東京」を共催 (2018/3)

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

(2) 地域の成長分野に対する支援強化

主要施策

① 農林漁業ビジネス推進

- ・外部コンサルタントと連携したG-GAP取得・輸出の支援
- ・「みなとAファンド」の推進

② 観光ビジネス推進

- ・「ひょうご観光活性化ファンド」の推進
- ・「せとうち観光活性化ファンド」の推進
- ・観光ビジネスに関する行員向け研修の実施

③ 医療・介護ビジネス推進

- ・神戸医療産業都市への誘致活動の展開、進出先企業との取引開拓
- ・みなと医療機器ビジネスセミナー、みなと医療・介護セミナーの開催
- ・病院を対象としたマッチング商談会・交流会等の開催
- ・医療コンサルタントとの連携強化

④ 次世代分野ビジネス推進

- ・次世代分野への重点的推進（航空、宇宙、ロボット、新素材、水処理 等）

具体的な取組状況等

- 顧客向けG-GAP勉強会実施（2017/12）、(株)ファーム・アライアンス・マネジメント（コンサル）によるG-GAP導入決定（株）レゾン（2018/1）
- 神戸財務事務所、近畿農政局との共催セミナー開催（2018/2）
- 農業関連ファイナンス案件
 ファンド実績：2件 / 5千5百万円
 融資実績：5件 / 6千8百万円、派生案件：1件 / 8億円

- 「ムスリムフレンドリーセミナー」36社・団体 参加（2018/3）
 （姫路市との連携、地方創生推進交付金事業）
- 観光関連ファイナンス案件
 「せとうち観光活性化ファンド」1件 / 5億円
 投融資見込：5件 / 9億7千5百万円

- 神戸医療産業都市 進出先4先（1億6百万円）と取引開始
- (株)さくらケーシーエスとの共催セミナー 2件開催（2017/6、2018/1）

- 「みなと次世代サポートファンド」12件 / 7億円
- ものづくりマッチング通期実績：紹介397件 / 成約75件
- 成長期待企業情報収集：71件（うち、5社 投融資取引開始）

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

3. 地域やお客さまへの積極的な情報発信

◇ 地域活性化への取組み

(1) 地域のコミュニティへの参画及び発展への活動

主要施策

① 地域における社会貢献活動の実施

- ・「神戸マラソン」「ルミナリエ」「大阪フィルハーモニー」など、営業エリアを代表する行事（知名度・集客力）の活用
- ・地域イベントへの協賛
- ・神戸マラソンや須磨海岸清掃活動等、各種ボランティア活動
- ・文化振興財団等との連携
- 「こころの劇場」への協賛、「こどもの読書週間」など、対外PR活動を実施
- ・地域イベントへの店舗設備の開放・活用

具体的な取組状況等

- 「大阪フィルハーモニー」神戸演奏会 SMBCと共催
→ 取引先招待（100組 / 200人）
- ヴィッセル神戸のスポンサー活動（2017/8）
→ 公式戦に小中学生150人を招待（前年比 +50人）
- INAC神戸レオネッサの公式戦を主催（2017/10）
→ 1,500人（前年比 +1,400人）、兵庫県（県政150周年）、神戸市（開港150年）と共同ブースを出展
- 神戸マラソンへの協賛（2017/11）行員 35人、取引先 32人 出走
- 神戸ルミナリエへの協賛（2017/12）神戸市内企業 9社が協賛
- 20イベントへ協賛・参加（前年度比 +4）、行員ボランティア参加 467人
- 「神戸開港150年記念事業」のPR（協力）
→ 記念ロゴ入り行内名刺の使用、ピンバッジの着用（約 2,100人）オリジナルカレンダーとポスターの制作（お取引先向け、10万枚）特別パネル展の開催（2017/1～2）本店営業部・三宮コンサルティングプラザにて
- 須磨海岸清掃活動：75人参加（前年度比 +29人）
- 神戸マラソンの給水ボランティア 近畿大阪銀行・関西アーバン銀行と連携 120人参加（当行 100名、両行 20名）
- 「こころの劇場」関西ブロックへの協賛（神戸・明石・尼崎・三木の計4都市で開催、県内の対象児童数 263校 / 20,248人）
- 読書チャレンジの広報をサポート（新聞掲載6回）
- 福崎支店新築移転オープン（2018/3）時から、1F展示スペースで福崎町による地域情報発信



II. 2017年度の取組み状況について

(2) ホームページ及び店舗を活用した積極的な情報発信の継続

主要施策	具体的な取組状況等
<p>① マスメディアへの情報発信力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行取組に関する情報発信 ・営業部門との連携による、お取引先のマスコミ紹介 ・地元記者、大阪編集局記者へのタイムリーな情報提供、役員懇談会などを通じた情報ルートの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> □ 当行報道件数 約440件（前年比 25%） □ 産経新聞社コラム「バンカーズ・アイ」を連載中 □ 営業部門連携 お取引先のマスコミ紹介 32件（掲載・放映実績 24件） □ メディア向け「懇談会」や「情報連絡会」を開催
<p>② ホームページ掲載情報の整理と見やすさの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュバナー、サイドメニューの有効活用 ・掲載内容、施策優先順位に応じたホームページレイアウト、不要情報削除 	<ul style="list-style-type: none"> □ 各種キャンペーン、メンテナンス等の情報提供 □ HP定例モニタリングを2回実施（2017/8、2018/3）
<p>③ 広報発行物の適時リリースと内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(ミニ)ディスクロージャー誌、アニュアルレポートの発行 	<ul style="list-style-type: none"> □ (ミニ)ディスクロージャー誌、アニュアルレポートを発行
<p>④ SNSサービスの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックの有効活用 ・LINEの導入による商品・サービスの情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> □ CSR活動の投稿数 49件、閲覧者数 約14,186人（2018 / 2末 実績） □ 関西みらいFGにおけるSNS活用方針について統合3行で協議中
<p>⑤ IR活動（各種情報提供を含む）の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナリスト向け会社説明会（IR）の実施（今年度開催せず） ・メディア懇談会（業況報告他）の開催（対象：大阪・神戸記者クラブ） ・地元メディア情報連絡会の開催（対象：神戸記者クラブ） ・取引先向け業況報告会を実施（みなと会合同支部会・みなと倶楽部等） 	<ul style="list-style-type: none"> □ 神戸メディア情報連絡会 兵庫県警と共同開催（2017/12）テーマ「特殊詐欺の現状と官民連携の対応について」… 記者16人参加 □ メディア懇談会の開催(2018/2)テーマ「業況説明会 関西みらいFG『みなと銀行の強み』独自のビジネスモデルを伸ばす」… 記者33人参加 □ 合同支部会にて現況報告（2017/7）… 取引先1,000社、マスコミ10社

Ⅱ. 2017年度の取組み状況について

(2) ホームページ及び店舗を活用した積極的な情報発信の継続

主要施策

- ⑥ 営業支援を目的とする商品広告の強化
 - ・新聞やWeb広告などを活用した、新商品・サービスの広告実施
 - ・商工会議所所報など、業界(地域)媒体による広告を実施

- ⑦ 店頭表示システムの有効活用
 - ・地域で重要なトピックス、啓発が必要なテーマ
 - ・テロップの有効活用(営業情報、顧客向け注意喚起など)

具体的な取組状況等

- 時節に応じた広告実施 … TV3回、新聞20回、雑誌14回、うちわ1回 他
- 商工会報(神戸・尼崎・姫路)への広告掲載
- 尾野会長インタビュー(2017/8,9月 合併号、2018/1,2月 合併号)

- 「神戸開港150年」「金融犯罪の未然防止」「地域貢献活動」を中心に構成、年間17本提供

(3) 次世代を担う地域の子どもたちへの様々な金融教育機会の充実

主要施策

- ① 地域の次世代を担う子供向けイベント充実
 - ・ワークショップの開催、若年層向け銀行のPR行事
 - ・特別支援学校などでの金融教室の開催

具体的な取組状況等

- 夏休みイベント 18組 / 26人参加(2017/8)
 - …「マネー教室」「ワークショップ」同時開催(日銀・神戸市立博物館 共催)
- 特別支援学校などでの金融教室の開催
 - 兵庫県立特別支援学校 40人 参加(2017/12)
 - 兵庫県立播磨特別支援学校 31人 参加(2018/2)
 - 兵庫県立姫路特別支援学校 16人 参加(2018/3)
 - 兵庫県立播磨特別支援学校 28人 参加(2018/3)

Ⅲ. 2018年度の取組みについて

「地域密着型金融の推進に関する基本的な取組方針」の下、2018年度は以下3点を重点取組項目として掲げ、引続き、地域密着型金融の推進に積極的に取り組んでまいります。

1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮 2. 地域の面的再生への積極的な参画 3. 地域やお客さまへの積極的な情報発信

1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮

【 地域経済を牽引する企業の成長支援 】

- (1) 事業性評価を通じた企業価値向上への取組み
- (2) お取引先のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮
- (3) 事業承継コンサルティングを活用した地域企業とのリレーション強化

【 高齢者・障がい者等向け取引への取組み 】

- (1) 相続相談業務の拡充
- (2) お客さまサポート機能の充実

【 ITの戦略的活用の取組み 】

- (1) ITイノベーションの推進等
- (2) FinTechへの取組み

2. 地域の面的再生への積極的な参画

【 地方創生への取組み 】

- (1) 行政、公的・民間機関との連携強化や地域プロジェクトへの積極的な参画
- (2) 地域の成長分野に対する支援強化

3. 地域やお客さまへの積極的な情報発信

【 地域活性化への取組み 】

- (1) 地域のコミュニティへの参画及び発展への活動
- (2) ホームページ及び店舗等を活用した積極的な情報発信の継続
- (3) 次世代を担う地域の子どもたちへの様々な金融教育機会の充実